

## 友行部落有文書概要

- 1: 文書群番号 074005
- 2: 文書群名 友行部落有文書
- 3: 出所 友行村
- 4: 家業・役職等
- 5: 地名 摂津国武庫郡友行村／兵庫県武庫郡友行村／武庫郡武庫村友行／尼崎市友行／尼崎市武庫之荘7丁目ほか
- 6: 行政区分 ①旗本長谷川氏(守知系)知行所／同氏(守勝系)知行所／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市 ②旗本長谷川氏(守知系)知行所／幕府領／武蔵国忍藩阿部氏(忠吉系)領／幕府領／尼崎藩領／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市
- 7: 歴史 友行村は市域北西部に位置する。史料上の初見は建治3年(1277)「醍醐寺報恩院領年貢注進状」(醍醐寺文書／『尼崎市史』第4巻)で「野間村友行名」とある。中世から近世にかけて野間荘が野間・時友・友行の3村に分離していったと考えられる。  
村高は慶長10年(1605)に295石余、元禄15年(1702)、天保5年(1834)に300石余とある。元和3年(1617)には旗本長谷川氏知行所であったが、寛永9年(1632)に村の大部約170石は同氏守勝系に分知、村の小部130石余は幕府領以下めまぐるしく領主が交替した。  
水利は富松井組に属した。氏神は須佐男神社(近世には牛頭天王社)、寺院は高野山真言宗白衣観音寺(旧称観音寺)、ほかに近世は真言宗瑞光山常法寺があった。  
昭和53年(1978)の住居表示により、友行という地名は消滅した。
- 8: 伝来 市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和50年に友行福祉協会が史料館へ寄託。
- 9: 史料入手先 友行福祉協会
- 10: 点数 242点(目録件数181件)
- 11: 年代 文禄3年(1594)～明治41年(1908)
- 12: 構造と内容 近世～明治初年の史料が大半を占める。内容は、①土地、②神社・寺院、③水利関連などの史料から構成される。  
①は、近世の年貢免状・皆済目録がある。近代以降は地租改正関連史料がある。  
②は、友行村内にある常法寺・観音寺・須佐男神社(牛頭天王社)関連史料であり、比較的よくまとまっている。普請関係、寺院願書控等の史料のほか、慶応4年(1868)の氏神争論史料もある。  
③は野間井組関連の史料などがまとまっており、水利絵図も数点含まれる。  
金融関係史料のほか、虚無僧の取り締まりなどがある。
- 13: 関連史料 岡治茂夫氏文書(1)、同氏文書(2)ほか
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央